

TEL 08512-2-0510
 FAX 08512-2-0512
 携帯電話 090-5261-7064
 ホームページ <http://www.kyousei.gr.jp/>

寒さが厳しい日が多く、水たまりに張る氷やちらちらと舞う雪など、冬の自然事象に直接ふれる機会がたくさんありました。「つめたいね」「はーってすると、白いゆげが出るよ」「手でもったら溶けてなくなっちゃった」など、子どもたちの発見や驚きに耳をかたむけながら、この時期にしかできない遊びを一緒に楽しみました。また、子どもたちと育てた冬野菜が立派に生長し、クッキングをして旬の味覚を味わい、「野菜って甘いんだね」と気づくこともできました。寒さと乾燥する今の時期は、感染症が流行しやすくなります。引き続き手洗いをしっかりと、元気に過ごせるようにしていきたいです。



隠岐共生学園第一保育所 R3. 2月 担当：藤野 優子

今月の活動

- <運動あそび>
 - ・友達と一緒にからだを動かすことを楽しもう
- <地域交流>
 - ・伝統文化にふれたり、昔から伝わるおもちゃを作ってみよう
- <食育>
 - ・季節の行事料理を知り、味わおう (3・4・5歳児)
 - ・身近な人と一緒に旬の食材を食べよう (0・1・2歳児)

<2月の行事予定>

- 2日(水) 節分豆まき
- 5日(金) スイミング保育 (ふじ組①グループ)
- 10日(水) 防犯訓練
- 12日(木) スイミング保育 (ふじ組②グループ)
- 16日(火) 誕生会
- 19日(金) ふじぐみさん ありがとう会
 ゆり組、すみれ組の子どもたちが、今までたくさん遊んでもらったふじ組さんへ、感謝の思いを伝えます
 防災訓練

*行事につきましては、感染症等の状況により日程変更や中止になることがありますのでご了承ください。

<3月の行事予定>

- 6日(土) おわかれ会 (ふじ組保護者様参加)
- 9日(火) 一日入園
(令和3年度に入所される子どもさんと保護者様)
- 27日(土) 卒園式 (ふじ組保護者様参加)

<伝承あそび> “けん玉”

けん玉は、けん玉そのものさえあれば、特別な器具も、スペースも必要なく、年齢も問わず、いつでも、どこでも、だれでもが楽しめる手軽さがあり、今注目されています。

けん玉で遊ぶ中で、出来ないことをできるようにするという練習が脳を活性化し、記憶力のアップにつながります。また、玉を自由自在にコントロールする脳の調整力、穴の箇所を瞬時に認知して正確に剣で玉の穴を刺すために不可欠な動体視力、そしてボールの動きに身体を連動させるリズム感まで高めることもできます。このように、けん玉は脳が潜在能力として保有している数多くの機能を高めてくれる効果があるだけでなく、単純に脳の活性化にも大きく貢献してくれる遊びなのです。

大皿、中皿、小皿、けん先を使って遊ぶ、昔ながらの木でできたけん玉は、小さい子どもたちには扱いづらいこともあるので、まずは興味を持ち楽しむことのできる手作りのけん玉で遊んでみませんか？

紙コップで作るけん玉を紹介しますので、ぜひ作って遊んでみてください。



材料：紙コップ2つ
 マスキングテープや好みのシール
 麻ひもや毛糸などの紐
 穴あけパンチ又は目打ち
 新聞紙やお花紙、など、玉になるもの
 セロテープやビニール袋



・好きなようにテープやシールを貼ります。直接マジックで絵を描いてもいいです。



・紙コップの底を張り合わせ、上下2か所に玉を入れる場所を作ります。一つの紙コップで一つの玉入れてもいいです。



・お花紙を丸めてビニール袋に入れテープで止めたり、新聞紙を丸めてビニールテープで巻くなどして玉を作ります。その玉に紐をつけます。



・ひもを通すための穴をパンチで開けます。



・開けた穴に紐を通して結んで完成です。



・一つのコップで作り、玉はガチャカプセルを使用しました



《2021年の節分は2月2日》

節分の日は、「2月3日」と決まっていると思っている人は多いと思いますが、実は節分の日付は固定ではありません。節分は立春の前日にあたる日を指します。立春の日は中国から伝わった「二十四節気」という季節を24分割した考え方が元になっており、「二十四節気」は地球と太陽の位置を国立天文台が調べて決定します。その結果、2021年の立春は2月3日の計算予測で、前日の2月2日が節分となります。節分が2月2日になるのは1897年2月2日以来、124年ぶりのことだそうです。(国立天文台HPより引用)

2022年以降は立春の日が2月4日に戻り、節分も2月3日に戻ります。ただし、来年以降は閏年の翌年の立春の日が2月3日となる＝節分が2月2日になるとのことで、次は2024年や2028年の翌年、つまり2025年や2029年の節分が2月2日になるとのことです。

《2021年の恵方は「南南東」》

節分の日には恵方を向いて、無言で巻きずしを一本食べるという風習がある地域があります。恵方は、歳徳神(としとくじん)という一年を守ってくれる神様がいらっしゃる方角のことを指し、「東北東」「西南西」「南南東」「北北西」の4方向のみとなっており、毎年方角が変わります。2021年の恵方は「南南東」です。



苦情・ご意見・ご要望 (令和3年 1月)

0件

始業式・お正月あそびの紹介



昔から伝わるお正月遊びの中から、コマ回しと羽つきを紹介しました。コマ回しでは、ふじ組の代表と保育士の代表で、誰がいちばん長く回るか対戦したり、羽根つきでは、何回ラリーができるかをみんなで数えました。子どもたちは、お正月遊びに、とても興味を持ち、「早くやりたい」「まけないぞ！」と意気込む姿が見られました。これらの遊びは、なぜお正月にするのか…という、遊びの持つ意味についても、知らせていきました。

<お正月遊びの由来>

- 風あけ**：空高く上がることから、「願い事を風に乗せて天まで届ける」という意味が込められています。
- コマ**：まっすぐに自立して回るその姿から「物事が円滑に回る」「お金がよく回る」として縁起物と考えられています。
- 羽根つき**：羽根つきの羽根にはムクロジという植物の実が使われており、「無患子」という漢字から「子どもが患わない」として1年の厄をはらい、子どもの成長を祈願する意味が込められていると言われています。
- カルタとり**：“貝合わせ”や“花合わせ”の遊びと結びついて“花がらた(花札)”になったり、“歌合わせ”と結びついて“百人一首”などの“歌がらた”ができたと言われています。その後、子どもたちがひらがなやことわざを覚えらるるようにと“いろはがらた”へと発展しました。

<かるたのりのルール> ふじ組・5歳児

クラスでかるたのりをしていた時のこと、男の子たちの中に強い子がいて、なかなか勝てないでいたAさん。何度挑戦しても負けてしまい、悔しい思いをしていました。どうしても勝ちたい思いがふくらんだAさん。そこで、自分なりのルールを考え出しました。そして、「個人ではなくチームで対戦すること」「お手付きをした場合には、頭に手を乗せて15カウント数えること」という提案をみんなの前で発表しました。Aさんと同じようになかなか勝てないでいる友だちが賛同し、他の子もAさんの迫力に押されて、ルールが成立しました。それから、ふじ組のかるたのりの場面では、読み札を読む声、「はい！」と札を取る声、「1・2・3・・・」と15数える声が入り混じって、とても賑やかな光景が見られるようになりました。遊びを通していろいろな気持ちを経験する中で、子どもたちなりに知恵をしぼり、考えを共有する姿に成長を感じた出来事でした。

保育参加(ひよこ・もも組)

今年度は感染症の影響でなかなかできない状況が続いていましたが、感染予防対策を十分に考え実施することができました。短い時間ではありましたが、日頃、子どもたちがどんな風に保育所で遊んだり生活しているのかを少しでも知っていただくことができ、保護者の皆様にご理解とご協力ありがとうございました。



もも組

リズムダンスを踊ったり、パネルシアターや運動あそびを楽しむ様子を見てもらいました。



ひよこ組

ふれあい遊びをした後に、離乳食を食べる様子を見ていただきました。



雪遊び



きもちいい〜!



一面の真っ白な雪に、「やった〜」「早くあそびたい!」と、一目散に園庭へと飛び出していきました。雪の冷たさや、くっついたり溶けていく不思議さなどを直接感じながら、思う存分からだを動かして遊ぶことができました。



学校ってこんなところだよ・・・
こんなことしてるよ・・・

一日入学(ふじ組)



1年生とペアになって、お店屋さんにお買い物に行ったり、工作、おにごっこ、リレーをしました。学校の様子を知ること、入学することにさらに期待が高まった様子の子もたちでした。「まってるよ」と言ってメッセージカードをもらって、それを嬉しそうに胸に当てる姿も見られました。最後に、校長先生から「大きな声で返事をしましょう」「大きな声であいさつをしましょう」「静かにお話を聞きましょう」という3つのお願いがあり、「はい!!!」と元気のいい返事をして気合十分でした。



たのしかったよ
ありがとう!



はっちゃん
がえる
をつくらう

かきぞめ(ふじ組)



一筆一筆、お手本の字をしっかりと見ながら、真剣な表情で書いていきました。はじめて筆を握ったとは思えないほど筆遣いが上手で、ダイナミックに書かれた書は、とても素敵でした。

書初めとは・・・

年が明けて初めて書く書のこと、1月2日に書くのが習わしとなっています。(書道や茶道などの習い事は1月2日に始めると上達すると言われていたそうです)ももとは宮中で行われていましたが、江戸時代以降に庶民にも広まってきたようです。元旦の朝に初めてくんだ水を神棚にそなえ、2日の日にその水で墨をすり、縁起のよい方向に向かってめでたい詩歌を書いたことが始まりと言われています。

書初めの意味・・・

- ・書の上達を願う
新年早々に、神聖な若水(1月1日にくんで、神棚にお供えた水のこと)を使って書くことで、神意にあやかり、字が上手になることを祈願します。
- ・一年の抱負を心新たにす
おめでたい言葉や詩歌、または今年一年の目標や抱負を書くことで、行動を新たにすという意味があります。



ホームページ

<http://www.kyousei.gr.jp>

TEL 08512-2-0129

FAX 08512-2-0210

携帯 090-5261-7065

真冬の寒さにも負けず、「おそといきたい！」と元気いっぱいの子どもたち。

天気の良い日は、かけっこや鬼ごっこ、アスレチックや雲梯などで体を動かして遊んだり、雪が積もった日は、雪投げや雪だるまを作って遊びました。

また、こまやかると、福笑いやすごろくなど、お正月遊びを保育士と一緒にしたり、友だちと一緒に楽しみました。

2月も感染症予防に努めながら、しっかり体を動かして遊んだり、好きな遊びやごっこ遊びなどを通して、友だちとの関わりを楽しみたいと思います。

ままごとあそび…
たのしいね！（1歳児）



冬の不思議？！

冬ならではの自然現象に興味津々の子どもたち。雪が解けかけた日や朝の冷え込みが厳しかった日の園庭は、発見がいっぱい。園庭で3歳児が集まっているので覗いて見ると「見て見て、こんなおっきいの取れた！」と水たまりの氷を触ったり、割ったりして楽しんでいました。そして、5歳児は、霜柱を見つけたり、「草も凍るんだね」と気づきがあったり、翌日も雪が残っていると「何で解けないんだろう？」とみんなで考えていました。

子どもたちの発見や驚きに共感しながら、好奇心や探求心を育てていきたいと思っています。

踏んたら
どうなるかな？！



園だより 2月

隠岐共生学園第二保育所

【今年度の重点目標】

人とのかかわりを通して、豊かな心と健康な体を育てる

2月のねらい

- 食育** ・季節の行事にかかわり、食事と体の関係を知る
- 保健** ・体を十分に動かし寒さに負けず元気に過ごす
- 0歳児** (ひよこ組) ・保育者との安定したかかわりの中で、気持ちや欲求を喃語やしぐさで伝えようとする
- 1歳児** (もも組) ・保育士や周囲の子どもたちとのかかわりの中で、自分の思いや欲求をしぐさや簡単な言葉で表そうとする
- 2歳児** (さくら組) ・寒さに負けず、保育士や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ
- 3歳児** (すみれ組) ・自分のイメージしたことや思いを友だちと伝え合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ
- 4歳児** (ゆり組) ・友だちと協力したり、考えを出し合いながらあそぶことを楽しむ
- 5歳児** (ふじ組) ・友だちと認め合ったり、協力し合ったりしながら、友だちとのつながりを深める

2月行事予定

- 2日(火) 豆まき
五箇小学校一日入学
- 3日(水) のりまき作り
- 4日(木) 磯小学校一日入学
- 5日(金) 有木小学校
- 9日(火) 都万小学校一日入学
- 10日(水) スイミング保育(ふじ組)
- 16日(火) 中条小学校一日入学
防災訓練
- 17日(水) スイミング保育(ふじ組)
- 19日(金) 防犯訓練
- 25日(木) 誕生会



3月行事予定

- 6日(土) ふじ組おわかれ会(ふじ組保護者様参加)
クラス別に行う予定です。(午前中)
詳しくは後日お知らせ致します。
- 9日(火) 一日入園(新入児を招待します)
- 27日(土) 卒園式(ふじ組保護者様参加)
- 30日(火) 修了式
- 31日(水) 休園(新年度準備)

※ 行事は変更になることもあります。
変更になる場合は、その都度お知らせ致します。

1月の苦情・ご意見・ご要望等の件数について

苦情	ご意見・ご要望
0件	0件

色々なご意見をお寄せください。待っています！



お正月あそび 楽しいね!



0歳児 (ひよこ組)

保育士が手作りこまを回すと、じーっと見入っていた子どもたち。『なんだろう?!』と手を伸ばし“回すと止める”を何度も楽しんでいました。

また、アンパンマンの絵合わせを見つけると、うれしそうに「(アン)パン!」と知らせてくれました。



1歳児 (もも組)

牛乳パックになぐり描きをして作った“こま”を指先を使って上手に回していた子どもたち。回るたびに「みて〜!」と大喜びでした。絵合わせせでは、絵が完成すると「さくらんぼ」「かに」…と、知っている物の名前を言葉で伝えてくれました。



2歳児 (さくら組)

こまや凧を作って遊んだり、かるたとりを楽しみました。絵カードを使って「〇〇はどこかな?」と楽しんでいくうちに簡単なかるたとりも楽しめるようになりました。取りたい私が取れず涙が出ることもありましたが、かるたとりが大好きになりました。



3歳児 (すみれ組)

手作りこまが上手く回ると「いっぱい回ったよ」と見せてくれたり、友だちと「せーの!」と言って一緒に回すことも楽しんでいました。かるたとりでは、遊んでいくうちに自分の名前と同じ形があるのを見つけ、平仮名に興味を持っていました。



4歳児 (ゆり組)

自分たちで読み手になって、かるたとりをしたり、こま回しに挑戦しました。遊びの中で、「全部読んでから取ろう」など自分たちでルールを決めたり、こまを回せるようになった子どもが「手を伸ばして!」とコツを教える姿も見られました。



5歳児 (ふじ組)

こま回しやかるたとり、凧あげをしたり、福笑いやすごろくを作って遊びました。こまを板の上で回し、次の板に移動させるなど友だちと一緒に遊び方を考えたり、ルールを作ったり、教え合ったり…そして、遊びを通して、文字や数字への興味も高まりました。



書初めをしたよ! (ふじ組)

兄や姉が書初めをしているところを見たことはあっても、実際に書くのは初めての子どもたち。稲刈りなどでお世話になった原田の若林さんに習字を教えて頂きました。

最初に若林さんが筆の持ち方や書き方を見せてくれました。そして「うしどし」「もちつき」「たこ上げ」の中から書きたい言葉を選び、若林さんや保育士と一緒に書きました。鉛筆やペンとは違う持ち方や動かし方に緊張や戸惑いも見られましたが、集中して書いていました。終わると「たのしかった!」という声が聞かれました。



隠岐民謡にふれよう!

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の為、隠岐の民謡を地域の方に披露して頂く機会が持てませんでした。そこで、保育士が三味線や太鼓、歌や踊りで「しげさ節」「隠岐相撲取り節」を発表し、隠岐の民謡に触れました。

日頃、見ることも少ない三味線。「何でしょう?」と聞いてみると「ギター!」と言う声も聞かれました。子どもたちは興味津々、真剣な表情で演奏や踊りを見ていました。

日本の楽器や隠岐の民謡に興味を持ったり、身近に感じてくれたと思います。

